



# 爆乳♥デカ尻 チアガール!

押しに弱い女子●生は  
挿み●せばヤらせてくれる

成人向けCG集  
基本CG12枚  
本編枚数228枚





太田 陽子 (おおた ようこ)  
身長:156cm  
B110/W61/H99 (Lカップ)

チアリーディング部に  
所属している女の子。

制服を着ていてもわかるくらい  
巨乳でお尻も大きい、  
エッチな身体の持ち主♡

露出の多いチアリーディング衣装を  
着ている時は周りの男子からの  
視線がすごく気になっちゃってます♡

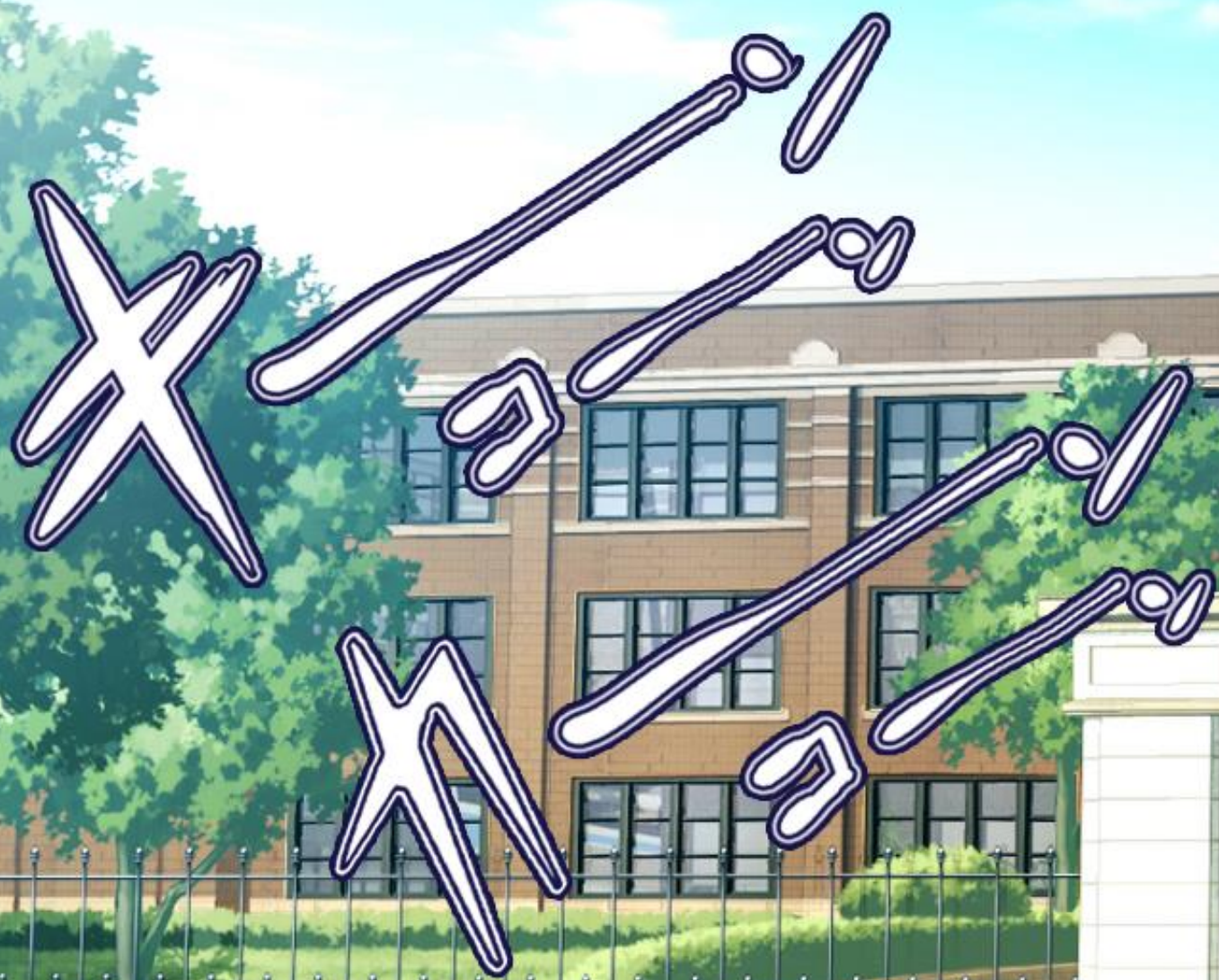




ここは男女共学の学校。

ただし、女子生徒よりも  
男子生徒の方が圧倒的に多い。

なぜなら女子生徒が着る  
学校指定の制服が  
非常にタサいからだ。





ガクッ  
ガクッ

はあ…可愛い女の子と  
おしゃべりしてみたい…

さらば、俺の青春の三年間…

くそっ、噂には聞いていたけど  
クラスのほとんどが  
男子じゃないかつ！



学校の至る所で男子生徒たちの  
悲しげな声が聞こえる。

しかし、新入生としてやってきた  
ある女の子を見て、男子生徒たちは  
歓喜に包まれた。



なんだろう…  
すごく見られてる気がする…

私、何か変かな…？

彼女の名前は太田陽子。  
おおた ようこ

そわそわ

家から近いという安易な考えから  
この学校に進学してきた。

彼女が注目を浴びる理由は  
単純なものだった。



爆乳だっ！  
制服の上からでもわかるっ！

ヤベー、超ムチムチじゃんっ！  
あの爆乳、最高っ！

ぷんぷん

…おっぱい揉みたい

どこもかしこもムチムチで  
男の欲望が詰まった身体。

彼女を見た男子生徒全員が  
勃起を抑えられなかった。

ムチムチ

ムチムチ

ムチムチ





ねえ  
太田さんは入る部活  
決めたの？

まだだよ  
でも、どこかに入らないと  
いけないんだよね？

みたいだね  
学校のルールだから  
こればかりは仕方ないよ

うっん…

陽子が悩んでいる一方で  
男子たちは彼女に  
入部してもらいたい部活があった。



チアリーディング部に  
入部してくれっ！

チアリーディング部は  
キミのために存在するっ！

チアリーディング部で  
おっぱいを揺らしまくってくれ！

男子生徒たちは陽子に  
露出の多い格好をさせたかった。

ムムムム



あいにくこの学校には  
水泳部がないからなあ

水泳部があったら  
そこに入部して  
ほしかったけど…

でも、チアリーディング部も  
露出が多いし  
乳揺れも楽しめそうだ

…  
?

キョトン



あのさ…  
チアリーディング部に  
入部してみたら？

ええっ

無理だよ、私には…  
運動は苦手だし

それに恥ずかしいし…

んん

んん

男子生徒たちが陽子の肉体に  
惹かれていたのに対し、陽子自身は  
自分の身体にコンプレックスを抱いていた。

大きいお尻や肉のついた腹回りが  
気になっているのだ。



でもさ、太田さん！  
せつかくだから新しいことに  
チャレンジしてみたらどう？

そうだよ  
運動が苦手なら  
克服しないと！

チアガールの服を着た太田さん、  
きつと可愛いだろうなあ…

そ、そうかな

モロモロ

陽子は押しに弱い女の子だった  
結果として陽子はチアリーダーディング部に  
入部することになった。



男の人の匂いが  
プンプンする…

部室の数に限りがあるって  
言っても…まさか応援部の  
男子たちと同じ部室だなんて…

しかもチアリーダーディング部の  
部員は私だけって…

くんくん

そわそわ

応援部とチアリーダーディング部は  
一緒に練習することが多いという理由だけで  
昔から同じ部室を使っていた。

一応、部室の中は男子と女子のエリアが  
カーテンで仕切られている。



陽子は応援部の男子たちと  
同じ時間帯に部室で着替えるのは  
恥ずかしいので避けたかった。

そのため、陽子は男子たちが  
着替え終わった後に一人で  
部室に入り、着替えようと思った。

これがチアガール衣装かあ  
ちゃんと着れるかな…

やや手間取ったものの  
陽子は無事にチアガール衣装に  
着替えたのだった。

とま  
とま

ムルッ



すみません  
お待たせしましたあ

あー楽しみ

そろそろじゃね？

太田さん、まだかな

ムリムリ

ムリムリ



で、でけーっ！

あのおっぱい、  
何カップだよ!?

とん

とん

おっぱい

とん

太ももがムチムチすぎる…  
揉みしだきたい

遅れてやってきた陽子の姿を見て  
男子たちは一気に興奮したのだった。



っ!  
そうそう、そんな感じ!

うん…:こうかな

オウ

大丈夫だよ、もっと  
強くやってもらってるかい?

っ

高橋くん、痛くない?

っ

おにやう



部活動を始める前の  
準備運動は二人一組で行われる。

男子たちが誰が陽子と組むか  
牽制し合っている中、  
真つ先に陽子に声をかけたのは高橋だった。

んっ

はあ

まみゅ

まみゅ

悪いな、みんな

くっ、高橋のやつ  
羨ましいぜ……!



でも、ここからの  
眺めも最高だな

ああ、パンツが丸見えだ

ってか、太もも  
パンパンすぎるだろ  
どんだけムチムチなんだよ

準備体操をしている途中も  
応援部の男子たちの視線は  
陽子にくぎ付けだった。





けっこう硬いんだね

えっ!!  
な、なんでバレたの?

やべ、ガチガチに  
勃起してきた……  
陽子ちゃんに  
バレたらヤバイ……!

どっ!

むぎゃ

おにや

うん





よかった…勃起が  
バレたわけじゃなかった

あっ  
そういうことね

えっ  
だって身体が全然  
曲がらないから…

むぎゅ

まみち  
まみち

ぐんぐん!!

ブルブル





うん  
こんな感じかな？

あのさ、もつと  
のしかかる感じで  
押してもらっていい？

うう……！

背中から感じる爆乳の  
重みと柔らかさが  
高橋をさらに興奮させていった。

どろどろ……

たふたふ  
むぎゃ

むにゅ





大丈夫、高橋くん？

うん  
心配しないで

明らかに様子が  
変だなあ…

びびり…

高橋の顔色を見てもようとした時  
あることに気づいた。

もみゅ

おにゅ

あは

うん





どきどき  
どきどき

やだ、高橋くん  
股間のところが  
すごく膨らんでる……!

もしかして……  
私が胸を押し付けてるから!?

というか周りの男子も  
みんな勃起してるじゃないっ!!



お尻

お尻

お尻

お尻

はあ、はあ……  
その調子、もっと押して……!

お尻

お尻

お尻



辛<sup>つら</sup>そうだから、  
やめた方が良くない？

ダメだよ！  
ちゃんと最後まで……！

もう……  
早く終わってえ

ほら  
もつと、身体を揺すりながら  
背中を押して、  
お願いだからっ！

もじ  
もじ

んっ

バ  
バ  
バ

お  
お  
お

お  
お  
お

お  
お

お  
お









うああ...

んんん



大丈夫…高橋くん？

えっ……ああ……  
も、もちろん……

絶対、嘘だよ  
ズボンに何か  
出しちゃってるじゃん……！

高橋は陽子に胸を押し付けられ、  
耳元で感じる彼女の吐息によって  
我慢できなくなっていた。

そしてパマンツにチ○コを  
擦り付けまくると、  
ノーハンドオナニーで射精した。



ありがとう、おかげで  
ずいぶん柔らかくなった  
気がする！

…だったらいいけど

エッチな匂いがする…  
これが精液の匂いなんだ

その後、高橋はすぐに代えの  
ジャージに着替え、部活を再開したのだった。

んん

むぎゅ

むん

どきどき

すんすん



がんばれー太田さん

いいぞー陽子ちゃん！

あっ

お前、今  
陽子ちゃんって言ったな？

太田さん

んん

んん

ぷんん

俺もこれからは  
陽子ちゃんって  
呼ぶからな！

おっ、俺もだ！







んっ

陽子ちゃん、もっと腕振ってみて

ごうかな

ニハ

たはろん

ぶるんっ

いいよー陽子ちゃん  
お尻も振ってみよう!

う、うん...

あ





うん

かまゆまゆ

びん

あ

やだ、服が上がって  
きちやった

いい感じになってきたね！  
その調子だよ、陽子ちゃん！

ぷん

ひん

うう…直したいけど  
直せない



はあ〜

はっ♡

陽子ちゃん  
汗ばんできたな

うわ、エツロ…  
勃起してきたわ

タッ

有るん♡

もう少し激しく  
踊ってくれたら  
ポロリもあるかも…？

応援部の男子たちは結託して  
陽子を激しくダンスさせた。



もっと弾むように踊ると  
さらに良くなるよ！

うん  
が、がんばる！

13P  
♡

がんばる

がんばる

SS46、もう...もうとだ！

陽子のダンスは激しさを  
増していき——



んっ♡

んっ♡

やっくん、おっぱい  
出ちゃってるよおっ！

よしっ……よしっ……

ポロリきました！  
やりました！

なまちくび  
女の子の生乳首……  
初めて見た

早く、隠さないと……！

おっぱい、  
ぽろり、  
ぽろり、

ぽろり、  
ぽろり、

んっ



陽子ちゃん、動きが  
変になってるよ!

でも…その!

ハプニングがあっても  
平常心を保たないと!

俺たちは気にしないから  
ほら、ダンスを続けて

そんなこと言って  
みんな勃起してるじゃんっ!

んん

りるん

グ

ルン

ギン





はっはっ

うっ!!

ピク

どろろした高橋!?

まさかお前  
また…?!

はっはっ

俺のことは  
気にするな…

気にするよお  
絶対また射精したんでしょ?!

ビクビク

おびろんっ

ドムム



陽子を取り囲む男子たちが  
一人、また一人と射精を  
してしまおう。

あっ……くっくっ！

はっ♡

んんん♡♡♡

ヤッ……あっ！

ムムム……

アッ♡

アッ♡

ビュッ！！

おっん、





精液の匂いが  
どんどん濃くなっていく

この匂い、嗅いでると  
私まで身体が熱く……

どきどき  
どきどき

ずんずん

たぎんたぎん

びんびん

あぁ  
あぁ  
あぁ

体育館は卑猥な匂らで  
満ちていった。

そしてこの出来事によって  
学校内ではある噂が  
広まってしまうことになる。

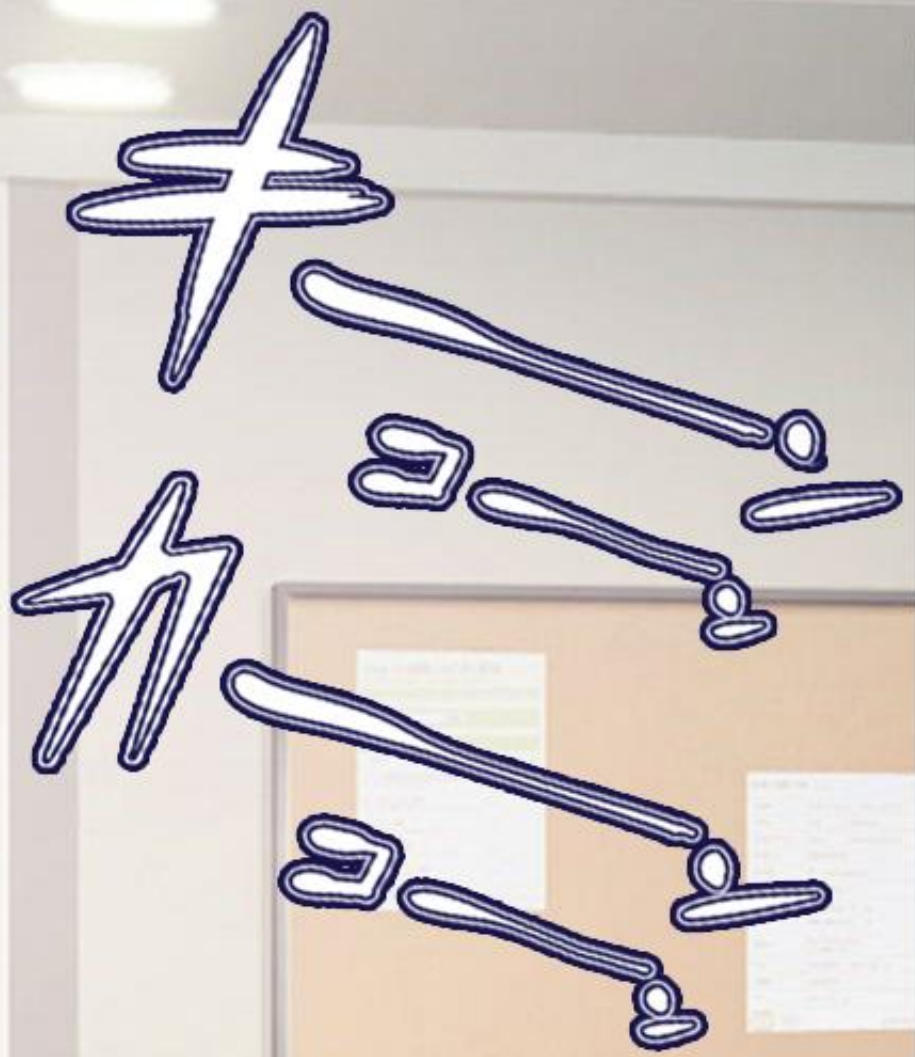


「見てらるだけじゃ射精させる女」

チアリーダーディング部に  
そんな女子がいるという噂が  
男子生徒たちの間で拡散されていた。



そして、多くの男子生徒たちが  
陽子を慕うようになり、  
彼女と仲良くなりたいと思うようになった。







キョトン

えっ

あ...おはよう

あっ

陽子ちゃん...おはよう

アキアキ

...今の人、誰だろう？  
私は知らない人だけど

それに...すごくもじもじ  
してたなあ



制服の上からでも陽子の身体の  
エロさはよくわかる。

男子生徒たちは陽子の姿を見て  
急に射精しないように  
常に我慢しなければならぬのだった。



あれ  
応援部って  
また部員数増えたの？

うん  
そうなんだよ

ムチ

ムチ

…絶対陽子ちゃんの  
ムチムチな身体が  
目当てだろうなあ



陽子は視線の数が日に日に多くなるのを感じつつも、チアリーダーディング部の活動を頑張るのだった。

たろん

クリン

びんわん

どろん





陽子がチアリーダーディング部に  
入部してからしばらく  
経ったある日のこと。

みんな帰ったみたいだし  
私も着替えようっと

いつも通り応援部の男子たちが  
着替え終わった後に  
陽子が部室で着替えようとした時――





いっけね、遅れちゃった！

って、陽子ちゃんっ!?

ビクッ

みんなが帰ったものと思っていた陽子はカーテンの仕切りを開けたままの状態を着替えようとしていた。

えっ  
山本くんっ!  
まだ残ってたの？





本当は陽子ちゃんと二人きりになりたいくて残ってたんだけどね

そうなんだ、偉いね

ちよつと居残りで練習してて...

んんん



陽子ちゃんの方が  
偉いよ

運動が苦手なのに  
頑張ってるじゃん

そうかな？

もじ  
もじ

そうだよ！





少しは部活に慣れてきたり？

うーん…どうだろう

運動はあんまりして  
こなかったから  
すぐ筋肉痛になっちゃうんだよね

はは

それは仕方ないよ







えっ  
そんな悪いよお

モロモロ

筋肉もほぐれるし  
疲れも解消されるよ

あっ  
よかったら  
俺がマッサージでも  
してあげよっか？



遠慮しないでいいよ！

それに俺、陽子ちゃんが  
もっと上手く踊れるよう  
応援したいんだ

うん  
だから…ね？

それじゃあ、お願い





けっこう凝ってるね

うーん、そうかも

びび

もみ

もみ

どきどき

これは念入りに  
ほぐしてあげないとなあ





やっぱりおっぱいが  
大きいから凝っちゃうのかな？

えっ  
さあ…わからないよ

なんで急にそういう  
エッチなこと言うのかなあ

さわさわ

むぎゅ

でも、大きいっていう  
自覚はあるよね？

もじもじ





それって、胸が  
ってこと？

そうだよ

さあ...

えー、絶対に大きいよ

ん  
もみもみ

ざいざい

もじもじ





えいっ!

ひゃっ

まじっ!

くさみ

やっぱり大きいじゃん

ちよつと  
触っちゃダメだよ!

ツム



ごめんごめん  
でも、やっぱり大きいよ

こんなに大きいなら  
肩が凝っちゃうのも  
仕方ないね

はあ♡

わかったから  
もう触るのは…

そんなこと言わないでよ  
お願いだから、  
俺に協力させて

もみもみ

たぶたぶ

ムム



それでも…

そこをなんとかっ！

俺、本当に  
陽子ちゃんを応援  
したいんだっ！

まじっ  
まじっ

まじっ

まじっ

まじっ  
まじっ

…さよね？

…





ひゃあっ！

ちよつと、さすがに  
これは……！

はあ

んっ  
♡

一生に一度のお願いだっ！  
頼む、このまま揉ませてっ！

こんなところで  
一生に一度のお願い  
使わないでよお……

ガッ

ざっ

グググ

ガッ

ゼッ

じわあ



今、可愛い声出したね！

勝手に出ちゃったの！

もじもじ

クククッ

ばび

むっむっ

そっかそっか  
もっと出してごらよ

乳首も忘れずに  
マッサージしてあげるね





バストマッサージなんて  
絶対に嘘だよ

山本くんがおっぱいを  
揉みたいだけでしょ……！

んっ

んんん

まじ

まじ

たぶ たぶ

まじ

なのに…気持ちよくて  
拒否できなくなってきた



どう？  
身体の奥、熱くなってきた？

わかんないよ…

それじゃもっと  
激しく揉んじゃうね

あーん  
あーん  
あーん

まお  
まお

あーん  
あーん

あーん♡  
あーん♡

あーん♡

あーん♡







あっ…私…

おめ

おめ

されたら？

あっ  
ダメ…そんなされたら…

ア

ア

ア

タ

あ

あ

あ

あ





アッ

はぁん♡





不思議な気分…  
でも、嫌じゃない

はあ……♡

あー♡

頭がぼーっとする……

ブルブル

ちち

ビクビク



ヤバい…  
めちやくちや  
勃起してきた

つ、次は  
ヒップマッサージだね

まだ続けるの？

もちろん  
さあ、横になって

もみもみ

むにゅむにゅ

んんん

んんん

この続きは、本編でお楽しみください！！